

島内供給野菜の作型開発
～小笠原における非結球レタスの品種比較～
小野 剛・河野 章・佐藤澄仁

【要 約】小笠原で供給できる品種は夏期栽培では‘晩抽レッドファイヤー，なんそうべに’，冬期栽培ではこれらに加え‘サニーレタス，ダンシング’が有望である。

【目 的】

小笠原においては、消費者の新鮮な島内産農産物に対するニーズが高い一方で、供給体制が整っていないのが現状となっている。そこで鮮度が重視され比較的需要の高い非結球レタスについて、島内消費に向けた品種比較および作型開発を行う。

【方 法】

2005年3月から隔月末に288穴セルトレイに播種（培土はメトロミックスを使用）し、雨よけハウス内の125cmのベットの4列、株間25cmに各品種40株定植した。施肥は成分量でN-P₂O₅-K₂Oをそれぞれ14-14-14kg/10aを全量基肥施用した。供試品種：‘サングリーン，サニーレタス，晩抽レッドファイヤー，レークグリーン，ダンシング，なんそうべに’の6品種を用いた。

【成果の概要】

非結球レタス類は葉の形状や色合いにバリエーションがあるが、今回は小笠原において栽培可能な時期が長い品種に注目した。

- 1) すべての品種において4～5月播種の栽培では抽台し、可販物は収穫できなかった（表1）。‘晩抽レッドファイヤー，なんそうべに’は他品種と比較すると抽台が起こりにくく、7月～3月播種の栽培が可能であった。また、30℃を越える夏期では発芽率が著しく低下した。
- 2) 株重は‘晩抽レッドファイヤー，なんそうべに，サニーレタス’が重かった。しかし、全体的に軽量であった（表2）。
- 3) 葉数は‘サングリーン’が栽培期を通して最も多く、次いで‘なんそうべに，晩抽レッドファイヤー’が多かった。ただし‘サングリーン’は草丈が低く、小型の葉が多かった（表2）。
- 4) 草丈は‘レークグリーン，サニーレタス，ダンシング，晩抽レッドファイヤー’が高かった（表2）。
- 5) 葉色は緑系では‘レークグリーン’が鮮やかな緑色で、‘サングリーン，ダンシング’と比較すると見栄えが良かった。赤色系では‘晩抽レッドファイヤー’が高温期でも着色が良く、次いで‘なんそうべに’であった。‘サニーレタス’は高温期に赤色がくすんだ（表2）。
- 6) 以上より、生育期が5～6月以外の夏期栽培に向くのは抽台の危険性が少ない‘晩抽レッドファイヤー，なんそうべに’（7月～3月播種、いずれも赤色系品種）であった。冬期栽培においては赤色系では上記2品種に加え‘サニーレタス’が、緑色系では‘ダンシング’の生育が良好であった。図1に小笠原における栽培暦を示した。

表1 定植時期の違いによる生育日数と抽台の有無

播種日	定植日	生育日数	晩抽レッドファイヤー	なんそうべに	サングリーン	レークグリーン	サニーレタス	ダンシング
4月25日	5月11日	49	抽台	抽台	抽台	抽台	抽台	抽台
5月23日	6月8日	57	抽台	抽台	抽台	抽台	抽台	抽台
7月25日	8月8日	58			抽台	抽台	抽台	抽台
9月30日	10月19日	52				抽台	抽台	抽台
10月24日	11月13日	59				抽台	抽台	抽台
11月28日	12月19日	66						
1月25日	2月13日	58						
3月25日	4月12日	61						

表2 品種特性（1月撒き平均）

品種	調整重 (g)	葉数 (枚)	草冠 (cm)		草丈 (cm)	葉色
			タテ	ヨコ		
レークグリーン	73.8	8.3	21.2	19.9	22.6	鮮緑
サングリーン	53.0	18.6	15.8	14.4	14.6	濃緑
ダンシング	79.0	9.5	25.6	23.6	21.5	緑
晩抽レッドファイヤー	123.6	13.5	30.0	24.2	22.4	濃赤褐
なんそうべに	119.0	15.3	22.9	22.3	16.4	濃赤褐
サニーレタス	113.8	11.1	25.7	23.9	24.3	赤褐

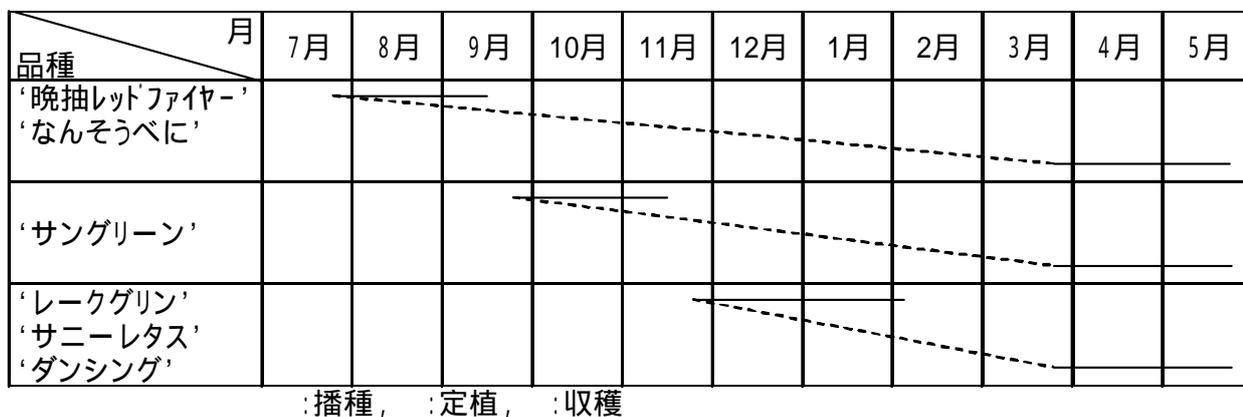


図1 栽培暦